

マタイの福音書 第4章 18節

「イエスがガリラヤ湖のほとりを歩いておられるとき、ふたりの兄弟、ペテロと呼ばれるシモンとその兄弟アンデレをご覧になった。彼らは湖で網を打っていた。漁師だったからである。」

ふたりの兄弟、シモンとアンデレはガリラヤ湖で漁をする日々でした。来る日も来る日も漁に励む兄弟でした。彼らの身の置き所はガリラヤ湖であり、そこに浮かべる漁船がすべてでした。その彼らを見ておられたイエスは、彼らの場から、イエスに従うよう声をかけます。呼びかけるイエスに身を置くよう招きます。彼らの場からイエスの場へと招かれます。彼らと彼らの家族の生業とする場からイエスへと招かれます。

兄弟が長年培ってきた漁です。ガリラヤ湖の特徴を熟知した漁師です。さまざまな天候を経験し、安全と実績を積み重ねてきた場からイエスの場へと招かれます。こんどから、人間をとる漁師にしてあげようとの誘いです。漁業から人をとる漁師と言われてもなんのことかわからなかったのではと想像します。たとえ、漁師という職種は同じであっても、魚と人では想像もつきません。

しかし、ふたりの兄弟は自分たちの場からイエスの場へと進みます。彼らの理解はどうであったのか、ではなくイエス招きのことばに従います。

2025年4月16日